

# (公財)いしかわまちづくり技術センター 中期目標

(実施期間 令和3年度～令和7年度)

令和3年3月 策定

## 1 団体の設立目的

石川県におけるまちづくりの促進及び地方公共団体の建設技術の向上と公共事業の効率的な推進を図ることにより、都市の健全な発展、都市機能の向上及び質の高い社会基盤づくりに寄与し、もって公共の福祉の向上に資することを目的としています。

## 2 団体の果たすべき役割

まちづくりや公共事業の執行など県内の地方公共団体等が実施する社会資本整備を支援するとともに、それらを担う人材の育成を担っています。

## 3 事業内容

### (1)まちづくり支援業務

#### ① まちづくりの啓発・普及

ア 街並み・まちづくりをテーマにしたシンポジウムの開催

イ 住民主体のまちづくり活動への支援及び研修会の開催

#### ② まちづくりに関する情報の発信

### (2) 公共事業執行支援

#### ① 建設技術に関する研修、指導・相談及び啓発・普及

ア 県、市町職員等を対象とした建設技術向上に資する研修会の開催

イ 市町職員の外部専門研修への派遣

ウ 基準書等の印刷頒布事業

#### ② 公共工事に関する設計積算業務等の支援

ア 県等の要請に基づく公共事業の執行に関する設計・積算業務の受託

イ 土木設計積算システムの提供と運用支援

ウ 公共事業に関する設計積算の技術アドバイス

#### ③ 市町向け橋梁アセットマネジメントシステムの提供と運用支援

ア 公共土木施設長寿命化修繕計画の策定支援

イ 市町が管理する道路橋の点検・診断業務に対する支援

## 4 現状と課題

### (1)まちづくりの支援と人材育成の取り組みについて

石川県内では、県や市町、地域住民、民間事業者等が一体となって、多様なニーズに対応したまちづくりに取り組んでいます。しかし、人口減少や少子高齢化が進んでいる現在、全てのニーズに対応することは困難な状況となっています。

まちづくりにおいては地域住民が主体となることが重要であり、それを支援する自治体担当者の意識向上も不可欠です。住民参加のまちづくりを一層推進していくためには、研修会やシンポジウム等により、まちづくりに係る人材育成を図ることが必要となります。

### (2)技術職員のサポート向上について

当センターでは、主に市町や県の新任及び中堅技術職員の専門的な能力向上を図るため、座学研修だけでなく、実技演習や現場実習等も取り入れた研修を行っています。

新任職員だけでなく、土木関連以外の部署から異動した市町職員に対しても、公共事業の円滑な促進に資するため、引き続き、建設に関する技術水準の向上を図る必要があります。

### (3)施設運営の効率化について

- ・職員一同、コスト意識を持って、経費節減に継続的に取り組む必要があります。

## 5 中期目標

### (1) 中期目標

- ① まちづくりシンポジウムにおいて、参加者のアンケートにおける満足度を85%以上に引き上げます。
- ② 技術研修において、受講者のアンケートにおける満足度を90%以上に引き上げます。

### (2) 測定指標と目標値

測定指標	基準値 (H29～R1平均)	中間目標値 (R5)	最終目標値 (R7)
① シンポジウムのアンケートにおける満足度	81%	85%	85%
② 研修の受講者アンケートにおける満足度	88%	90%	90%

## 6 目標達成に向けた具体的な取組内容

### (1) まちづくりの支援と人材育成の取り組み

- ・シンポジウムによりまちづくりにおける魅力的な話題を提供し、まちづくりへの意識を高めてもらうために、開催年のまちづくりの状況や新しい動きの把握など内容の充実に努めます。
- ・まちづくりに興味のある人の裾野を広げられるよう、まちづくり活動団体へのメールやチラシ郵送のほか、ホームページやフェイスブック等を用いて広く周知するよう努めます。

### (2) 技術職員のサポート向上

- ・研修受講生のアンケートを基に、習得したいことや要望する研修を把握し、研修内容の充実や見直しを図っていきます。
- ・各研修において、参加する受講生のレベルに合わせた資料作成に努め、また、理解度を上げるために問題形式を取り入れる等、研修の進め方についても配慮します。
- ・専門性の高い研修においては、最新情報も取り入れた内容となるよう努めます。

### (3) 施設運営の効率化団体運営の効率化に向けた取り組み

- ・研修資料のホームページ掲載による印刷物の削減など、経費の削減に取り組みます。